

上一中だより

第4号 平成29年 7月6日

板橋区立上板橋第一中学校：〒174-0072東京都板橋区南常盤台1-1-1

校長 松野 高至 TEL03-3956-8126 FAX03-5995-8352
上一中ホームページ <http://www.ita.ed.jp/edu/kami1jh/>

小中連携教育推進「せせらぎ学びのエリア」 上一中・常盤台小・弥生小・上板橋小

生徒指導の基本姿勢

校長 松野 高至

中学生にとって友だち関係で最も難しいのは、仲間の発言や行動に「ダメ！」という否定的な言葉を発することでしょう。面と向かって本音で語り合うことが難しい今の中学生は、交友関係の崩壊を恐れて「やめろよ」「いけないよ」という制止の言葉や、特にグループや有力者の前では「嫌だ」という拒否の言葉を発しにくいと思います。

上板橋第一中学校が「みんなが安心して通う、通わせたい学校」であるために、生徒たちにも「友だち・学校の施設・授業」を大切にしよう伝えていきます。多くの生徒はこれを理解して学校生活を送っています。特に3年生はそのための努力を日々重ね、色々な場面で成長した姿を見せてくれています。しかしながら、1学期は「ダメなことはダメ」という生徒の中の浄化力が一部で機能せず、クラスメイトへの嫌がらせ、他の生徒が困るいすら、器物破損、をした生徒がいました。逸脱行為（大人の社会では犯罪）をする背景は、生徒による違いはありますが、共通する点は、現在とっている行動が過去の経験の中で、周囲の大人から容認されてきたか、または指導されないまま放置され、正しさの基準がずれた行動をしてもそれに気付かないことです。行末が心配です。

学校は、一つの社会であり、学校生活を通して生徒は実社会で生きていくための資質と行動力を身に付けます。生徒は行動の判断基準となる価値観をまずそれぞれの家庭生活から身に付け、その後の学校等での集団行動を通して確認や訂正を行っていきます。特に、学校生活で身に付ける価値観の育成には、学校と家庭・地域との連携が欠かせないと考えています。

学校では、新学期を迎える際に必ず確認する生徒指導の基本姿勢があります。それは第一指導の徹底です。第一指導とは、日常生活のなかで、生徒の言動に「何か変だ」と気づいたとき、気付いた教員が見過ごさずに声かける、指導をする、ことです。この指導の有無がその後の指導に大きな影響を与えるのです。第一指導を受けられなかった生徒は、その時の行為が認められたと認識してしまいます。一度身に付いたものをその後の指導で直すのは難しいものです。最初の声かけのチャンスを大切にすることが、健全な子育てになると考え、改めて第一指導の徹底を行っていきたいと考えています。

生徒の心の成長を願い、ご家庭の協力を得て行いたい指導があります。次の4点です。

「時間と約束を守る習慣づけ」

「ルール違反は認めない」

「やりたくないは認めない」

「提出物を未提出のまま認めない」

ぜひ、ご協力をお願いします。

2年職場体験

6月13日(火)~15日(木)



1年移動教室

6月14日(水)~16日(金) 富士見高原



プール開き

6月19日(月)

昨年の工事でプールがきれいになりました。



たまねぎ



2年生が昨年度の校外学習でお世話になっためぐりパークよりたくさんの玉葱が届きました!

雪のため、現地で植えることができなかった玉葱の苗を学校に持ち帰り、学級委員が学校の畑に植えました。小ぶりではありますが20個ほど立派に育ちました。



進路説明会

6月14日(水)

